

機械学習と人間によるコンテンツ審査によって ポリシーを適用する仕組み

YouTubeには毎分500時間以上の動画がアップロードされています。そのため、YouTubeのポリシーに違反するコンテンツを大規模に検出して削除することが重要になります。YouTubeはユーザーのコミュニティを保護するため、高度な機械学習システムと専門の担当者による審査を組み合わせて使用し、ポリシーに違反するコンテンツが多くの視聴者の目に触れる前に検出、審査、削除しています。

機械学習とは

機械学習は人工知能の一種で、コンピュータをトレーニングし、明示的にプログラムされていなくてもアクションを実行できるようにするものです。YouTubeでは、コミュニティガイドラインに違反する可能性のあるコンテンツのパターンを学習して特定するためにこのテクノロジーを利用しています。機械学習システムはYouTube上のコンテンツを24時間365日スキャンするため、1人の人間が同じ作業を行うのにかかる時間の数分の1で数十万本の動画を確認できます。

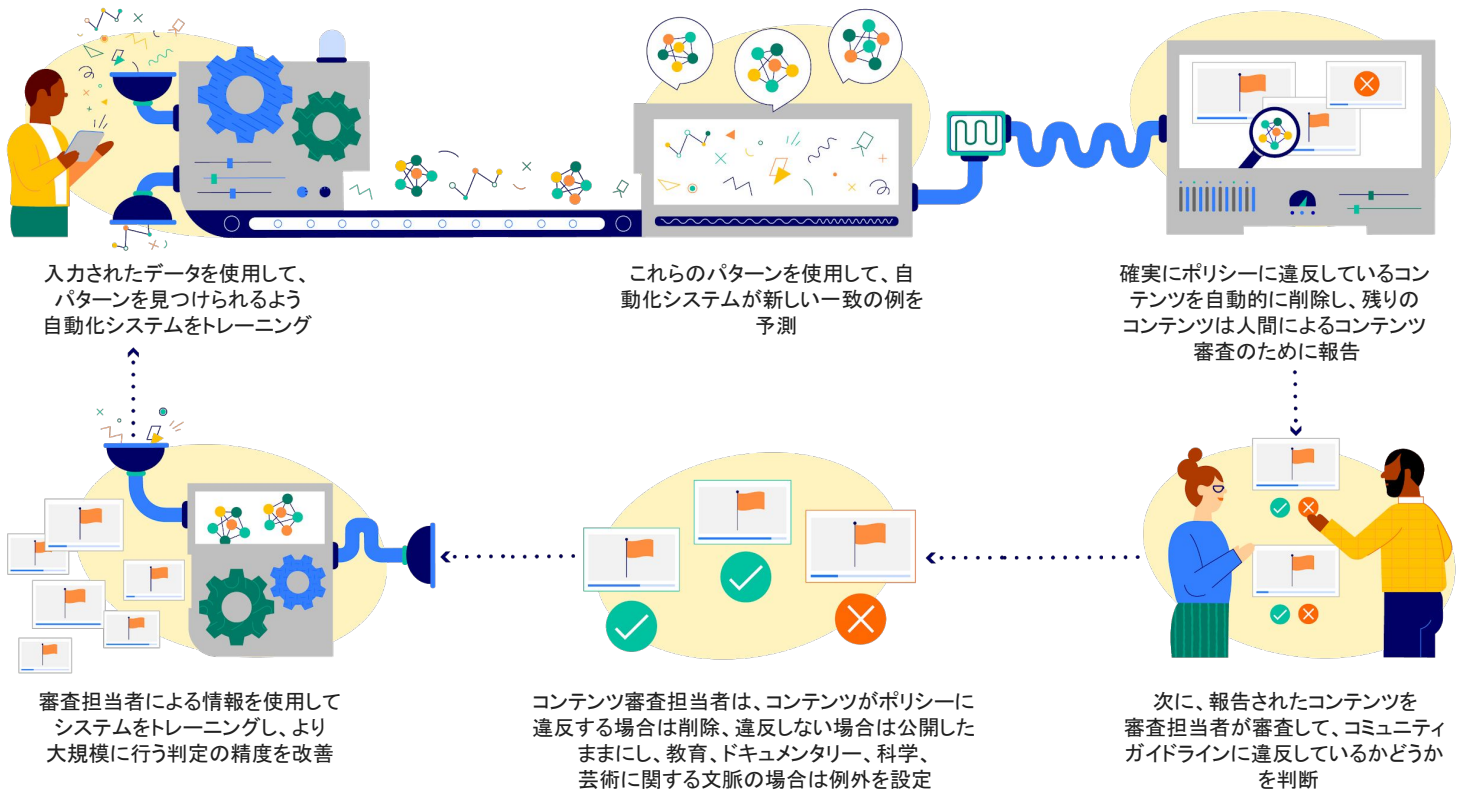
- 大量の有害なコンテンツを24時間体制で積極的に特定して報告
- スпамなど、以前に削除されたものと同様のコンテンツを自動的に削除

人間によるコンテンツ審査とは

YouTubeは、複数の言語に精通した審査担当者を世界中のタイムゾーンに何千人も配置しています。審査担当者は、報告されたコンテンツを評価するために必要なポリシー適用条件の微妙な違いを理解しています。

- 教育、ドキュメンタリー、科学、芸術に関する文脈のコンテンツの保護など、コンテキストが重要となる複雑な状況では人間の判断を適用
- 探しているものの例を示して、検出したいものを機械学習システムに教える

人間によるコンテンツ審査で機械学習システムをトレーニングする仕組み



930 万本

削除された動画の合計数*

95%

削除された動画のうち、最初に機械学習によって検出されたもの*

72%

ポリシー違反のため削除された動画のうち、視聴回数が10回未満だったもの*